



くにしていしせき
国指定史跡

なかでらはいじあと

中寺廃寺跡

なかでらはいじあと

だいせんざん

へいあんじだい

中寺廃寺跡は、大川山(高さ 1042.9m)の西にある平安時代の山の

あと

お寺の跡です。お寺の跡は、高さ 600～700m 辺りにあります。広さは

187713.16 m²で、琴南小学校の運動場 50 個分くらいです。

はくつ

な ら じ だ い

発掘して調べたところ、奈良時代の終わりごろから、山の中の 3 か所に、平らな土地がつくられていたことがわかりました。それぞれの平ら

たてもの

な土地に、いろいろなお寺の建物が建てられました。お寺は、平安時代の終わりごろまでありました。

ど き

中寺廃寺跡は、特別な土器などが埋められていた、めずらしいお寺であることから、国の史跡に指定されました。

し せ き し て い

広島県

岡山県

栗島

高見島

紫雲出山

三豊市

多度津町

善通寺市

丸亀市

こんぴらさん

琴平町

仲南地区

満濃地区

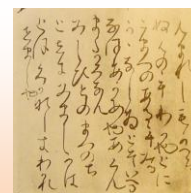
中寺廃寺跡

満濃池

大川山から見た風景



都は平安京(現在の京都)



ひらがなが誕生



移動は牛が引く車



十二単(紫式部)



貴族が楽しんだ楽器

平安時代ってどんな時代？

むかしの中寺

まんのう町教育委員会
生涯学習課 文化財室
〒766-0202
まんのう町中通875番地
琴南公民館内
電話 (0877) 85-2221
FAX (0877) 85-2826

中寺の場所



わりいであんあと 割拝殿跡

おいのりをした建物
中央から大川山が
よく見えます。



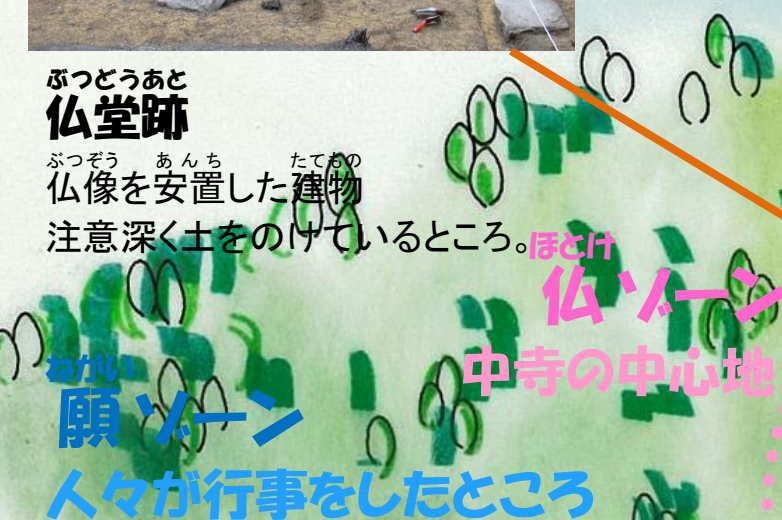
とうあと 塔跡

屋根が三重の建物
それぞれの石の上に
柱が立っていました。



ぶつどうあと 仏堂跡

ぶつどう あんち たてもの
仏像を安置した建物
注意深く土をのけているところ。



いしぐみ 石組

四角く組んでお祭り
をした跡
崩れている石をの
けているところ。

中寺の土の中から出てきた物



特別に作られたつぼ
塔跡にうめられていた土器



越州窯系青磁碗
中国からきためずらしい
おわんのかけら



役人のベルトのかざり
石帯(つら)



元形
(三重県立歴史博物館のもの)



元形
(三重県立歴史博物館のもの)



元形(正倉院のもの)
仏像のお供え物のうつわ
佐波理加盤



元形(正倉院のもの)
仏教の行事に使われた壺
西播磨産須恵器多口瓶



土にうまっていた時の
様子
屋根の前側のかわら
軒丸瓦



東大寺の
かわら(参考)



僧が修行をするときに持つつえ
元形(板木・
輪主等のもの)

いよいよ 祈ゾーン 中寺が始まったところ



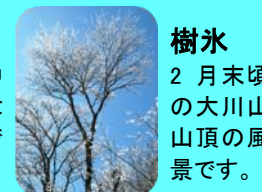
ギンリョウソウ
6月頃、ジメジメし
た林の中でさく無
色の花です。



ホトギス
9月ごろ、
日陰に生える
山野草です。



ムラサキシメジ
秋、広葉樹林の中
に生える鮮やかな
紫色のキノコで
す。



樹氷
2月末頃
の大川山
山頂の風
景です。



ヤマガラ
大川山キャン
プ場でた
くさん見
ることが
できま
す。



ツルリンドウ
秋に林の地面
をはうようにた
くさんの花がさ
きます。

中寺廃寺跡がある大川山(標高 1042.9m)
には県内では珍しい原生林が広がり貴重
な植物や動物が数多く生息しています。